JAPAN BARS

整理番号	：	1031	制定日	：	2002/5/20
版番号	：	14	改訂日	：	2024/2/16

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品

製品名	：	アミックス　ロングライフクーラント(高防錆力タイプ)(ピンク)
製品コード	：	999-06900-R9-025、08703-K9000、08703-K9001
推奨用途及び使用上の制限	：	液冷式内燃機関用冷却液・LLC

会社情報

会社名	：	日本バーズ株式会社
住所	：	〒530-0047　大阪市北区西天満３丁目1−26
担当部門	：	研究開発部
電話番号	：	072-773-1000
ファックス番号	：	072-784-0584

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分2
皮膚感作性	：	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	区分1<中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器> 区分2<血液> 区分3<気道刺激性、麻酔作用>
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	区分1<中枢神経系、呼吸器、心臓>

環境に対する有害性

水生環境有害性　短期(急性)	：	区分3

※記載のないものは区分に該当しない又は分類できない。

GHSラベル要素

シンボル

注意喚起語

危険

危険有害性情報

- 飲み込むと有害のおそれ
- 軽度の皮膚刺激
- 強い眼刺激
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 臓器<中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器>の障害
- 臓器<血液>の障害のおそれ
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気又はめまいのおそれ
- 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器<中枢神経系、呼吸器、心臓>の障害
- 水生生物に有害

注意書き

安全対策
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ミスト、蒸気を吸入しないこと。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- 環境への放出を避けること。

応急措置
- 飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の刺激が続く場合:医師の診察、手当てを受けること。
- 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合:汚染された衣類をすべて脱ぐこと。多量の水と石鹸で洗うこと。
- 皮膚刺激又は発疹が生じた場合:医師の診察、手当てを受けること。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
- 気分が悪い時は、医師の診察、手当てを受けること。

保管
- 施錠して保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 子供や認知症の方等の手の届かないところに保管すること。

廃棄
- 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 ： 混合物

成分及び含有量(危険有害成分)

成 分 名	含有量(%)	CASNo.	化審法No.	安衛法	PRTR法No.
エチレングリコール	85~95	107-21-1	(2)-230	該当	非該当
水酸化カリウム	3以下	1310-58-3	(1)-369	該当	非該当
リン酸	1未満	7664-38-2	(1)-422	非該当※	非該当

- 化審法No. ： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号
- 安衛法No. ： 労働安全衛生法第57条の2
- PRTR法No. ： 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 指定化学物質の管理番号

※安衛法通知対象物質であるが、含有量から法律には該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合 ： 直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かくして安静にする。医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 ： 直ちに汚染した衣服を脱ぎ、石鹸や皮膚用の洗剤を使って水でよく洗い流す。医師の診断を受ける。

眼に入った場合 ： 直ちに清浄な流水で 15 分以上、瞼の裏まで完全に洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 ： 直ちに吐き出させ、医師の診察を受ける。

最も重要な兆候及び症状に関する簡潔な情報

主原料(エチレングリコール)の中毒症状としては、次のような症状が発現する。

摂取後30分~12時間 ： 中枢神経系及び代謝系の障害。エタノールの酩酊状態に似た症状。痙攣、こん睡、脳浮腫、代謝性アシドートス、低カルシウム血症、蛋白尿が現れる。重篤な症状の場合は結晶尿が見られる。

摂取後12時間~36時間 ： 頻呼吸、チアノーゼ、肺水腫、心臓肥大。

摂取後36時間~72時間　：　腎不全の兆候、慢性吸入の場合、意識障害、眼振、リンパ球増加症。

5. 火災時の措置

適切な消火剤　：　水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂
使ってはならない消火剤　：　棒状注水
特有の消火方法　：　可燃物を周囲から取り除き、高温にさらされる周囲の設備には水をかけて冷却する。
消火を行う者の保護　：　適切な保護具(耐熱性着衣、手袋、呼吸器保護マスク等)を着用し、風上から消火活動を行なう。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項　：　作業の際には、必ず保護具(保護手袋、保護マスク、保護前掛け等))を着用し、風上で作業を行う。
環境に対する注意事項　：　流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材　：　漏出源を遮断し、漏れをとめる。少量の場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策　：　風下の人を避難させる。漏洩した周辺には、ロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　：　適切な保護具(保護手袋、保護マスク、保護前掛け、ゴーグル等)を着用すること。指定数量以上の危険物を取り扱う場合は、法に定められた基準を満足する製造所、貯蔵所、取扱所で行うこと。指定数量未満の場合は、都道府県条例等に従うこと。
火気厳禁、周辺での火気・スパーク・高温物の使用は避けること。
安全取扱い注意事項　：　換気のよい場所で使用し、容器はその都度密栓すること。
接触回避　：　「10. 安定性及び反応性」を参照する。

保管

安全な保管条件　：　風通しの良い冷暗所に保管する。直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて保管する。水のかかる所や湿気の多い所に置かない。
安全な容器包装材料　：　破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

成分の暴露濃度基準

成分名	濃度基準値		管理濃度	許容濃度	
	8時間	短時間		日本産業衛生学会	ACGIH(TLV)
エチレングリコール	10ppm	50ppm	未設定	未設定	STEL 100mg/m^3 (aerosol)
水酸化カリウム	未設定	未設定	未設定	2 mg/m^3	Ceiling limit 2 mg/m^3
リン酸	未設定	未設定	未設定	1 mg/m^3	TWA 1 mg/m^3 STEL 3 mg/m^3

設備対策　：　屋外または換気の良い場所で使用する。取り扱い場所の近くに手洗い・洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具　：　換気が不十分である場合は、適切な呼吸用保護具(有機ガス用防毒マスクなど)を着用する。
手の保護具　：　適切な保護手袋(ゴム製、ポリエチレン製などの不浸透性素材のもの)を着用する。
目の保護具　：　保護眼鏡(側板付き普通眼鏡、ゴーグル型など)を着用する。
皮膚及び身体の保護具　：　長袖の作業着、長靴、保護前掛けを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態　：　液体
色　：　桃色透明
臭い　：　かすかな甘味臭

融点／凝固点	：	-27℃
沸点／初留点及び沸騰範囲	：	164℃
可燃性(ガス、液体及び固体)	：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	：	(下限)3.2%　　(上限)15.3%
引火点	：	126℃(クリーブランド開放式)
自然発火点	：	404℃(エチレングリコール)
分解温度	：	データなし
pH	：	8
動粘性率(動粘度)	：	17.5mm/s(25℃)
溶解度	：	水溶性
n-オクタノール／水分配係数(log 値)	：	データなし
蒸気圧	：	7Pa(エチレングリコール)
密度及び／又は相対密度	：	1.13g/cm^3(20℃)
相対ガス密度	：	2.1(空気=1)(エチレングリコール)
粒子特性	：	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	：	安定
化学的安定性	：	室温では安定
危険有害反応可能性	：	強酸化性物質、強塩基と反応することがある
避けるべき条件	：	火気、熱源
混触危険物質	：	強酸化性物質、強塩基
危険有害な分解生成物	：	情報なし

11. 有害性情報

製品に関する情報

急性毒性(経口)	：	区分に該当しない	2000<LD_{50}≦5000mg/kg、区分５ (JIS 分類では区分に該当しない)
急性毒性(経皮)	：	区分に該当しない	LD_{50}>5000mg/kg より、区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	：	区分に該当しない	区分３成分≧10%より、区分３ (JIS 分類では区分に該当しない)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	：	区分2	区分２成分≧10%より、区分２
皮膚感作性	：	区分１	区分１成分≧0.1%より、区分１
生殖細胞変異原性	：	区分に該当しない	区分２成分<1.0%より、区分に該当しない
生殖毒性	：	区分に該当しない	区分１成分<0.3%、区分2成分<3.0%より、区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	：	区分1	(中枢神経系、腎臓、心臓、呼吸器系)成分が 10%以上
		区分2	(血液)成分が 10%以上
		区分3	(気道刺激性、麻酔作用)成分が 20%以上
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	：	区分1	(中枢神経系、心臓、呼吸器)成分が 10%以上

12. 環境影響情報

製品に関する情報

生態毒性	：	情報なし
残留性・分解性	：	情報なし
生態蓄積性	：	情報なし
土壌中への移動性	：	情報なし
オゾン層への有害性	：	情報なし

水生環境有害性　短期(急性)	：	区分３	区分１成分×100＋区分２成分×10 区分３≧25%より、区分３
水生環境有害性　長期(慢性)	：	区分に該当しない	区分3成分が 25%未満

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	：	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄処理業者と委託契約をして、処理を委託する。
汚染容器及び包装	：	中身を使い切ってから廃棄する。製品が付着している容器も廃棄物として適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	：	非該当
国連分類	：	非該当
容器等級	：	非該当
海洋汚染物質	：	該当

国内規制

陸上規制情報	：	消防法の定めるところに従う。
海上規制情報	：	非危険物
航空規制情報	：	非危険物

緊急時応急措置指針番号(容器イエローカード指針番号)　：　171

共通注意事項　：　取扱い及び保管上の注意の項を参照するほか、運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。

15. 適用法令

消防法	：	危険物 第四類第三石油類 水溶性 危険等級Ⅲ
労働安全衛生法	：	
表示対象物質	：	エチレングリコール、水酸化カリウム
通知対象物質	：	エチレングリコール、水酸化カリウム
皮膚吸収性有害物質	：	エチレングリコール
皮膚刺激性有害物質	：	水酸化カリウム
PRTR法	：	非該当
毒物及び劇物取締法	：	非該当
船舶安全法	：	非該当
港則法	：	非該当
航空法	：	非該当
海洋汚染防止法	：	有害液体物質(Y類)
廃棄物処理及び清掃に関する法律	：	産業廃棄物規制(拡散、流出の禁止)

16. その他の情報

主な文献

JIS Z 7253-2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル，作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JIS Z 7252-2019 GHSに基づく化学品の分類方法
GHS分類結果データベース(独立行政法人製品評価技術基盤機構－NITE) ※1
危険物船舶運送及び貯蔵規則(海文堂)
緊急時応急措置指針(日本規格協会)
原料メーカーの安全データシート ※2

※備考

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、危険、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
記載の評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。取扱う事業者は、本データシートを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処理を講ずることが必要であることをご理解の上で活用されるようお願いいたします。

改訂情報

第1版	2002年5月20日	：	初版発行
第2版	2003年8月20日	：	
第3版	2005年1月5日	：	書式変更

第4版	2006年6月28日	：	
第5版	2009年8月5日	：	PRTR法改正
第6版	2009年12月9日	：	品番追加　品番08703-K9000
第7版	2010年12月20日	：	書式変更　JISZ7250(2010)様式
第8版	2011年4月19日	：	色名追加 ブルーの制定により色名を追加
第9版	2016年3月1日	：	分類見直し 書式見直し
第10版	2016年6月1日	：	安衛法改正
第11版	2022年5月1日	：	書式変更　JISZ7253(2019)様式
第12版	2023年6月12日	：	情報更新
第13版	2024年1月18日	：	安衛法改正
第14版	2024年2月16日	：	濃度基準値の追加